



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

2018年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I 会長 イアン H. S. ライズリー



ロータリー:
変化をもたらす

善意というものがなければ
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会

平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛腸章

6月4日号

第3071回例会 (5月28日(月)第4例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 委員会報告
7. 卓 話 「桐生に来たのは・・・」
クマさんの動物診療所
長田 克比古 様
8. 点 鐘

ようこそビジター

<卓話者> クマさんの動物診療所 長田 克比古 様

会長の時間

《報 告》

- ・5/14 定例理事会
- ・5/19 高崎北 RC 創立 50 周年
疋田 PG・会長・桑原君出席
- ・5/20 足尾植樹
- ・5/21 早朝例会 午前7時 鳳仙寺
桐生市国際交流協会平成 30 年度総会
会長出席
次年度委員長会議

《予 定》

- ・5/28 例会終了後、クラブ協議会
- ・5/29 ファッションタウン桐生推進協議会交流会 会長出席
- ・6/2 2018-2019 年度会員増強セミナー
疋田 PG・次年度松島会長・木村幹事
坪井研修リーダー・田中会員増強委員長 出席
- ・6/3 梅田湖花火大会

幹事報告

- ・国際ロータリーより、ロータリーレートのご案内です。
6月は、1\$ = 110 円です。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・宮内ガバナーエレクトより、地区研修・協議会に際するお礼状が届いております。
- ・中之条 RC より、創立 50 周年記念例会に際するお礼状が届いております。
- ・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。

- ・桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各 RC より週報到着。
- ・例会終了後、クラブ協議会がありますので理事役員各委員長は、よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成 30 年 5 月 28 日)

総員 66 名:出席 39 名

平成 30 年 4 月 23 日例会修正出席率:68.25%

平成 30 年 5 月 7 日例会修正出席率:87.75%

平成 30 年 5 月 14 日例会修正出席率:93.44%

ニコニコボックス

山崎一順君…先日の母の通夜、告別式で大勢の会員の皆様に御会葬頂きましてありがとうございました／疋田博之君、日野昇君、藤江篤君、富澤剛君…結婚祝／小林雅子さん…誕生祝／疋田博之君…出席 100%。

米山奨学委員会

日野 昇 会員 100,000 円

卓 話



「桐生に来たのは・・・」

クマさんの動物診療所
長田 克比古 様

私が桐生に来て、早いもので31年たちました。実は、私も33年前、2年間ですが、ブラジルの人口4万人ほどの小さな町アラシヤでロータリアンだったこともありますので、懐かしいです。

私は、出身は大分県の別府市、大学は北海道でした。卒業後青年海外協力隊で獣医の仕事でフィリピンに2年間、その後1975年にブラジルに渡りました。その後いろいろあって、桐生に巡り会うわけですが、大分県と桐生市は浅からず縁がありますが、これをお話します。

まず第一の縁は、「なばよでくれ」という小学校の副読本がありました。不安定な椎茸栽培の現状を見て、京都大学の学生だった森喜作さんが何とかしなくてはという想いで、種ゴマを使った栽培を研究開発し、普及させた結果、大分県は日本一のしいたけ生産地となりました。

もう一つは、大正12~14年に錦桜橋の鉄橋工事がありました。この工事は陸軍工兵隊が架橋しましたが、その時の指揮官が広瀬勝滋さんです。広瀬さんはその後群馬工業専門学校の配属将校で桐生理由に何度もきていて、昭和19年~20年まで、桐生市長を務めました。大分県日田市の出身です。

桐生、このような縁のあるところでした。

最初に桐生に足を踏み入れたのは、33年前1985年2月に、きのご栽培のレクチャーを受けるために、森産業さんにきました。そのあと数カ所回ったのですが、野村総合研究所生物科学部で手配してもらい大泉の大里産業というところに寄らせてもらいました。きのおがくずでつくった菌床栽培、工場プラントでおこなうキノコ栽培を開発していました。東京三洋電機の空調の技術と組んで、およそ1億円のプラントをつくっていました。

その時の大里産業の社長が大里政由さんで堤町が住まいでした。土壤改良のことなど、いろいろ話が盛り上がり、桐生にはすごい人がいるんだな・・・と思いました。

さらにその10年前、1975年に、桐生にくる話が始まります。配布の野村プラスのパンフに牛が出ています。これは日本で育てられているものと違いこぶがある熱帯で育てられているネオ牛といい、これ以外は熱帯地方では病気に弱くて育ちません。これを普通の牛と交配して改良したのが、大きいところではオースリア牛です。

さて、野村證券は、大和銀行の創始者野村徳七が興した会社、戦前ブラジルに日系人が多数移住して、大変苦労した話を聞き、何とか役に立てないかということで、ブラジルで250家族ほど雇用してコーヒー農園経営をしていました。ブラジルの広大な土地を生かして、徳七翁の夢を叶えようと、このプロジェクトが決まりました。野村総研をつくった、1965年に野村證券から野村総合研究所が独立し、その中に生物化学研究所が設立され、私はここに所属していました。

野村證券の50周年、野村総合研究所10周年の事業として始まったのが、ブラジルで農業牧畜研究所でした。野村證券から一人が管理者、野村総合研究所から二人が技術者として始めました。現地で、農業の専門家の山口さんもいました。

ブラジルの平均的な農業用地は5000?で大間々よりも少し広いくらいの広さです。効率が悪いので、私達の農場は、5?に1頭、5000?で1000頭位しか飼えない。これはブラジルは自然の原野の80%は原状保存残す

という法律がある。40ha ゴルフ場3ツ位の土地を毎年開拓して、10年で4000ha つくりました。

ブラジルは雨季乾季がハッキリしていて、雨期にブルドーザー2台を1チーム、土壌が肥えていないので、木の根っこも浅くバタバタなぎ倒して、業者に依頼して開墾しました。はじめの一年の雨期に、400?を開きました。まずは、陸稲、刈り取った後に栄養分が土に残る。つぎに、大豆を植えて土に窒素が残る、そのあと牧草を植える、3年計画です。

牛を買いに行くのですが、一番危ないのがブルサラという病気で、人に牛乳でうつり、流産を生じます。この病気にかかっていないか検査をして購入しなければなりません。800頭の内400頭、5割が疑似陽性、一頭一頭血液検査、太い針で血を採って400頭の検査を徹夜でしたものです。そして選別して当座の200頭を買いました。現地のトラックに24頭乗る、ドライバーのみトラックに付いて、真っ暗な真夜中について牛を放す。5000?に200頭放すと、牛はあちこちに行ってしまうので、集めるのに1ヶ月かかりました。

カーボーイ3人一組であれば、100頭の牛を自由に動かせません。チーフのアントニオは、馬より使いやすいということで、普段はラバに乗っていました。近場に飲みに行く、ラバが連れて帰ってくれます。

牛を飼って、農業もやるわけですが、小農場80?を買い、住居、事務所は町の中に三人で住みました。最初は、そこにコーヒーが植わっていたので、コーヒー栽培を始めることにしました。

私は子どもがその年に出来たので、アラシヤの町の様子を見て、住める基準は盲腸の手術が出切るかどうかでしたが、大丈夫ということで、家族を呼びました。

農業のプロドクター山口とともに、農業と牧畜をあわせた総合農業を目指しました。

コーヒー園のためには肥料がいる、養鶏場跡があったので豚舎をつくり、糞が肥料に。とうもろこしを植えて、未晒は豚の餌になり、茎は土壤改良になった。5年経過したところで、12000haの土地をブラジリア近くで買い、アラシヤ5400haで将来の目安がつかしました。

そこで、中国で農業をやりたいということで、会社にお願いましたが、これはダメでした。ということで、独自に中国で調査をしましたが、当時中国は重工業しか興味を持たず、時期尚早ということで、日本に戻りました。

そこで、ふと思い出したのが、大里先生、桐生でした。地図をみたら東京からも近く、水利も良い、水を制するものは世界を征する。ということで私は桐生に居を移し、31年になりましたが、クマさんの動物病院を開院し現在に至っています。

本日のお食事

❀本日のお花❀



美喜仁

